

平成 2 9 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

平成二十九年

青森県海面漁業に関する調査結果書（属地調査年報）

青森県農林水産部

（背表紙）

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき22市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成29年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、御協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成30年3月

青森県農林水産部長 油川 潤一

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	71

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成 29 年の青森県の漁獲数量は 206,250 トン、漁獲金額は 571 億 347 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で 43,409 トン (17.4%) 減少し、漁獲金額では 64 億 2,689 万円 (10.1%) 減少した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量及び金額が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい(稚貝/半成貝/新貝/成貝)」等の生産量が減少したこと、また、記録的不漁により「するめいか(近海・生/近海・船凍)」等の漁獲数量が大幅に減少したことによるものである。

(3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲数量で 20,089 トン (8.9%) 減少し、漁獲金額では 64 億 2,082 万円 (12.7%) 増加した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲数量対平年比 283.1%) 等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「すけとうたら」(37.1%)、「するめいか」(46.8%)、「ぶり」(48.0%) 等であった。

(4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 29 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 35,623 トン (14.7%) 下回っており、金額で 58 億 1,025 万円 (11.3%) 上回っていた (図 1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成19年	295,695		57,217	
平成20年	261,354	△ 11.6	53,171	△ 7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,659	△ 0.1	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,103	△ 10.1
平成19年～平成28年 までの平均 (A)	241,873		51,293	
平成29年／(A)%	85.3 %		111.3 %	

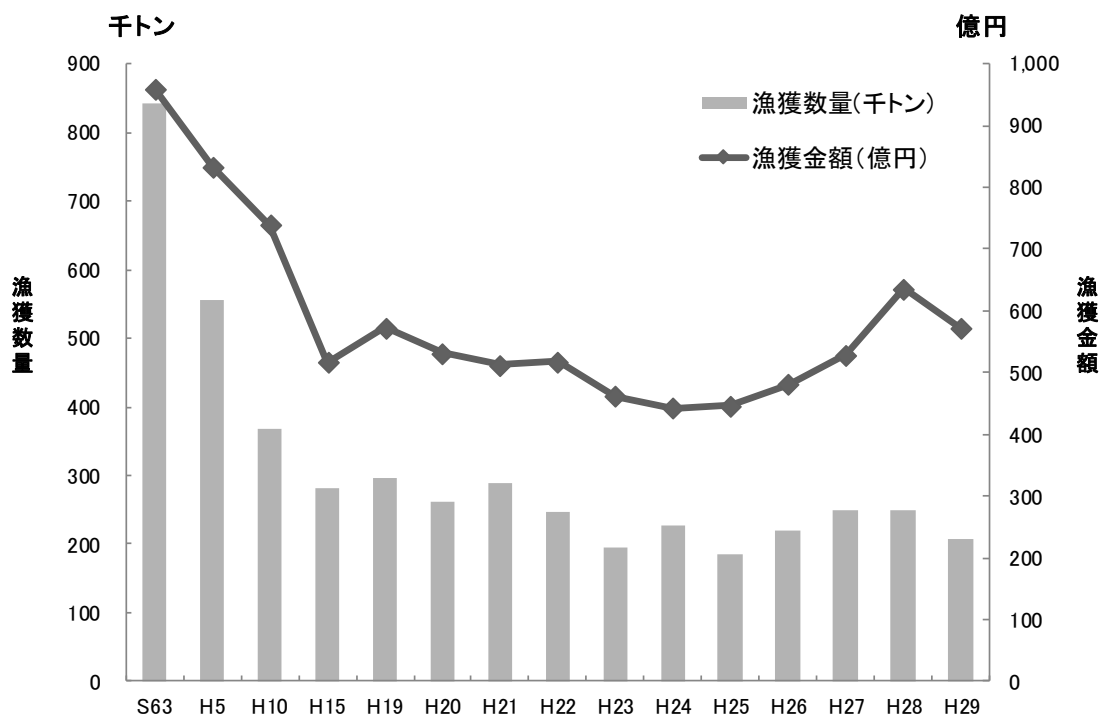


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 29 年の漁獲数量を月別にみると、11 月が **32,366** トンで最も多く全体の 15.7% を占め、次いで 10 月の **28,420** トン (13.8%)、7 月の **27,808** トン (13.5%) となっている (図 2、第 3 表)。

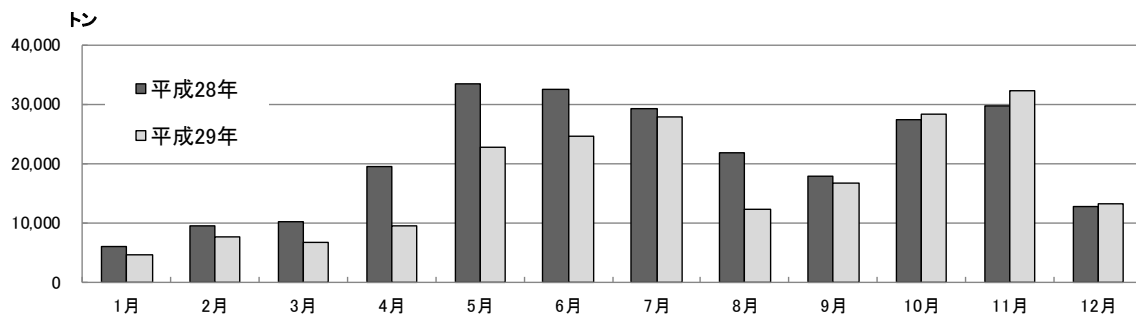


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 29 年の漁獲金額を月別にみると、7 月が **78 億 6,525 万円** で最も多く全体の 13.8% を占め、次いで 6 月の **66 億 5,557 万円** (11.7%)、11 月の **58 億 4,434 万円** (10.2%) となっている (図 3、第 4 表)。

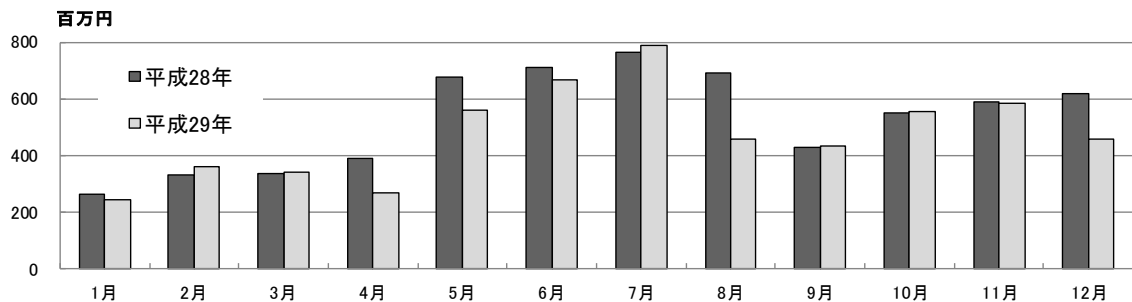


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が 95,914 トンで最も多く全体の 46.5%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」81,298 トン(39.4%)、「その他の水産動物」26,720 トン(13.0%)、「藻類」2,318 トン(1.1%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 988 トン(1.0%)増加、「貝類」は 41,366 トン(33.7%)減少、「その他の水産動物」は 4,406 トン(14.2%)減少、「藻類」は 1,375 トン(145.9%)増加した(図4、第5表)。

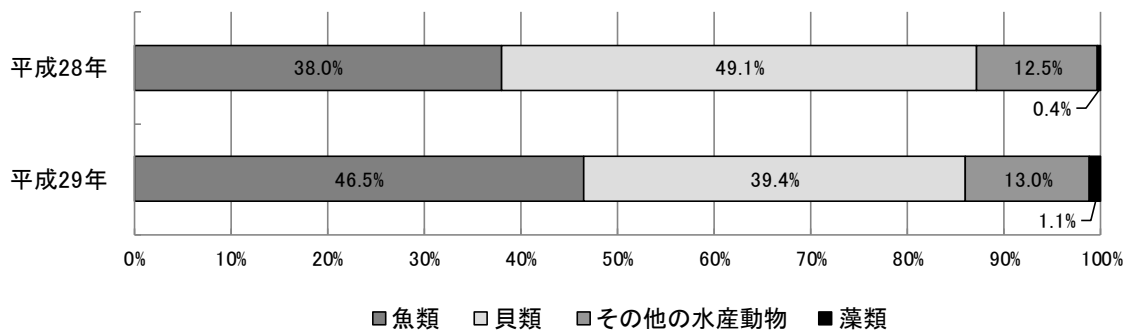


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が 220 億 4,961 万円で最も多く全体の 38.6%を占め、次いで「その他の水産動物」173 億 8,633 万円(30.4%)、「魚類」165 億 7,768 万円(29.0%)、「藻類」10 億 8,986 万円(1.9%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 9 億 1,113 万円(5.2%)減少、「貝類」は 47 億 3,986 万円(17.7%)減少、「その他の水産動物」は 14 億 7,734 万円(7.8%)減少し、「藻類」は 7 億 144 万円(180.6%)増加した(図5、第6表)。

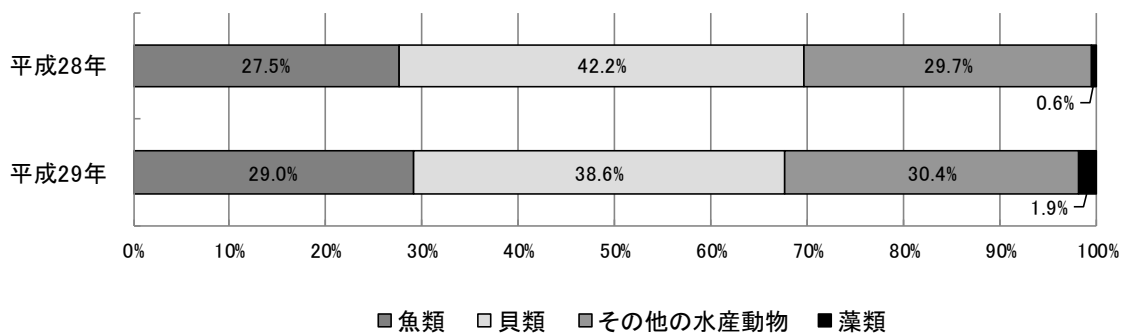


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」80,530トン（構成比39.0%）、「さば」41,904トン（20.3%）、「いわし類」32,503トン（15.8%）、「するめいか」17,597トン（8.5%）、「さけ」3,480トン（1.7%）、「たら」3,174トン（1.5%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「いわし類」6,505トン（対前年増加率25.0%）、「こんぶ」1,278トン（335.3%）、「あかいか」950トン（30.0%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」41,166トン（対前年減少率33.8%）、「するめいか」4,882トン（21.7%）、「たら」2,603トン（45.1%）、「すけとうたら」2,525トン（59.7%）となっている（図6、第1表、第7表）。

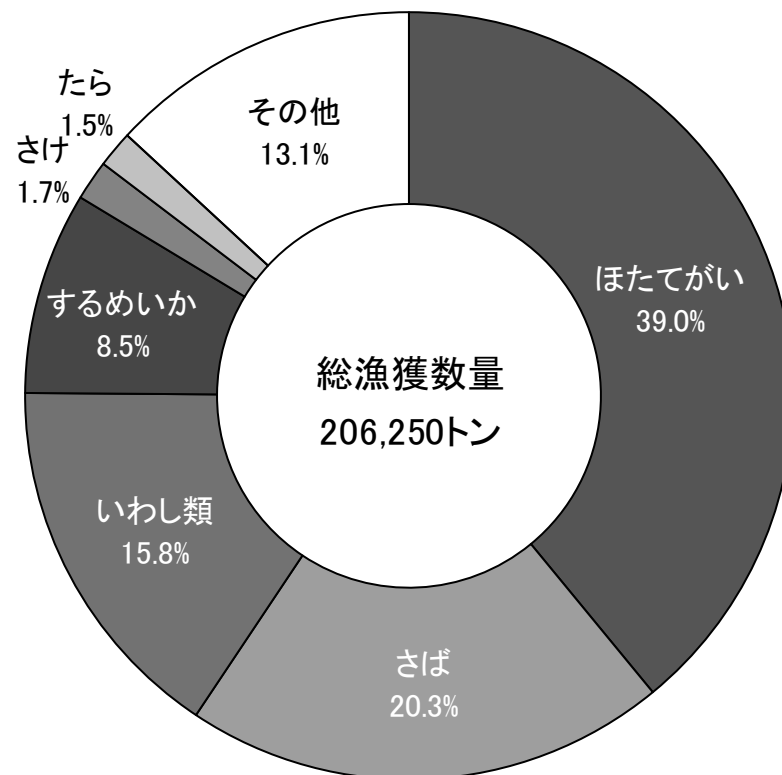


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」215億5,450万円（構成比37.7%）、「するめいか」98億278万円（17.2%）、「さば」37億787万円（6.5%）、「さけ」26億5,109万円（4.6%）、「なまこ」26億322万円（4.6%）、「まぐろ」25億6,120万円（4.5%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「こんぶ」6億4,307万円（対前年増加率344.5%）、「あかいか」6億5,381万円（46.5%）、「さけ」6億3,009万円（31.2%）、「まぐろ」5億7,766万円（29.1%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」46億5,995万円（対前年減少率17.8%）、「するめいか」22億9,722万円（19.0%）、「たら」7億2,974万円（36.9%）、「さば」6億3,332万円（14.6%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

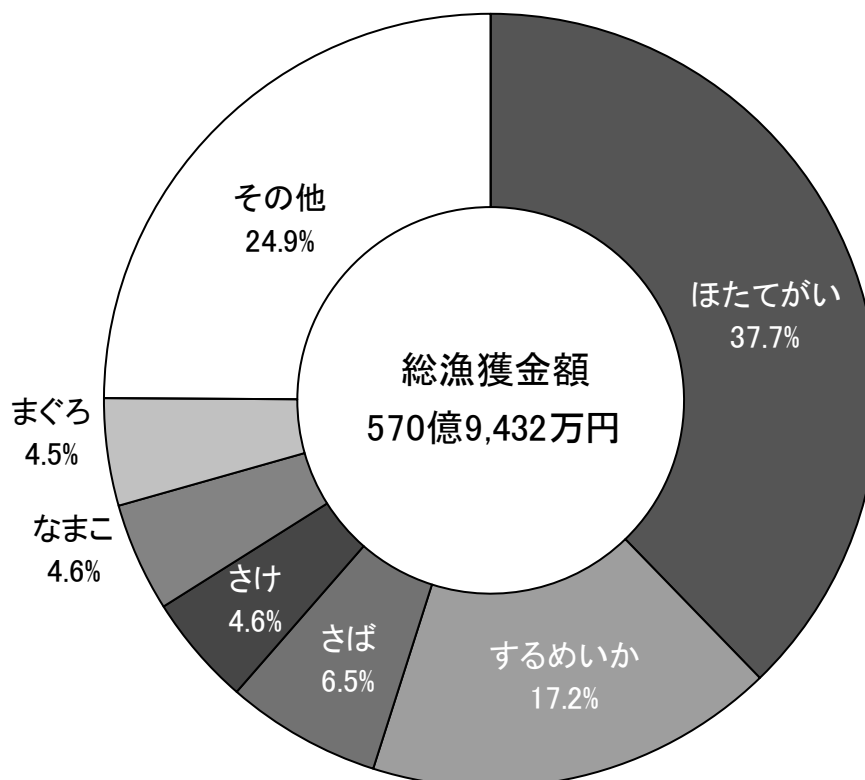


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が77,627トン（構成比37.6%）で最も多く、次いで「まき網類漁業」75,183トン（36.5%）、「いか釣漁業」15,516トン（7.5%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「まき網漁業」9,180トン（対前年増加率13.9%）、「採藻漁業」1,344トン（153.4%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」37,057トン（対前年減少率32.3%）、「沖合底曳網漁業」4,318トン（33.3%）、「刺網漁業」3,905トン（52.1%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が206億2,001万円（構成比36.1%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」86億8,208万円（15.2%）、「まき網漁業」61億6,779万円（10.8%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「採藻漁業」6億8,996万円（対前年増加率186.3%）、「小型定置網漁業」2億8,551万円（9.0%）、「刺網漁業」1億3,642万円（5.0%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」41億8,201万円（対前年減少率16.7%）、「いか釣漁業」16億361万円（15.6%）、「沖合底曳網漁業」6億9,129万円（17.2%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 99,534 トンで最も多く全体の 48.3% を占め、次いで平内町 19.1%、青森市 5.5%、むつ市 5.4%、外ヶ浜町 4.9% の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、東通村 782 トン（対前年増加率 18.5%）、八戸市 748 トン（0.8%）、大間町 456 トン（30.5%）、佐井村 124 トン（10.4%）ほか 2 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、平内町 22,079 トン（対前年減少率 35.9%）、青森市 8,004 トン（41.2%）、外ヶ浜町 4,841 トン（32.6%）、蓬田村 2,755 トン（52.3%）ほか 12 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 182 億 4,870 万円で最も多く全体の 32.0% を占め、次いで平内町 18.0%、むつ市 9.4%、横浜町 5.3%、東通村 5.3% の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、東通村 7 億 1,628 万円（対前年増加率 31.1%）、大間町 6 億 7,925 万円（36.0%）、六ヶ所村 1 億 7,600 万円（20.0%）、深浦町 1 億 5,526 万円（7.4%）ほか 5 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市 32 億 6,963 万円（対前年減少率 15.2%）、平内町 29 億 4,977 万円（22.3%）、青森市 5 億 8,627 万円（17.5%）、野辺地町 4 億 6,372 万円（21.1%）ほか 9 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

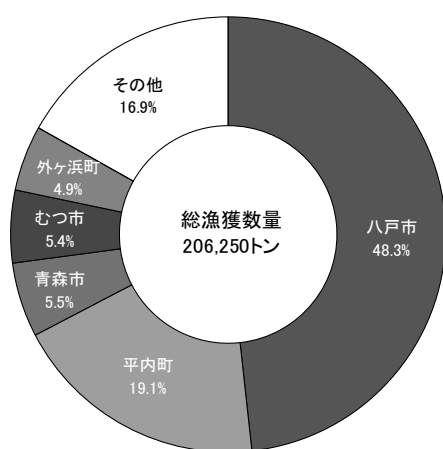


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

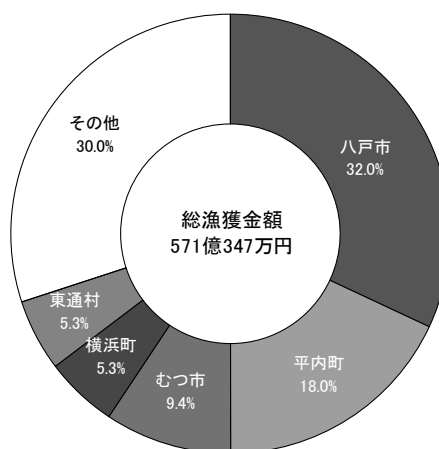


図 9 市町村別漁獲金額の構成比